

未来社会を切り拓く児童生徒の育成を目指した

カリキュラム・マネジメントの確立(2年次)

～「わかる」「できる」「たのしい」があふれる学校づくり～



今年度の研究

カリキュラムの充実

- ・ 単元指導計画の活用
- ・ 領域教科合わせた学習の年間指導計画の整理
- ・ 年間指導計画の書式の見直し

指導の改善(自立活動)

- ・ 学年内における自立活動の目標共有
- ・ 自立活動に関する実践
- ・ 実践した内容を基に評価

前期研究まとめ

小学部1年生

自立活動の区分と教科等:心理的な安定【図工】

取り組んだ指導内容と成果

初めての学習はタブレットを使用し、詳細なスケジュールを提示した。また、朝の会などの時間に、児童と一緒にその日の流れを事前に確認したり、学習中も適宜スケジュールを提示したりして、見通しをもって学習できるよう支援を行った。

個別タブレットによる視覚支援で構造化を経験したことで、全体に示されるスケジュールやクラス全体への指示・アナウンスにも自ら注目できるようになった。



小学部3年生

自立活動の区分と教科等:コミュニケーション【生単】

取り組んだ指導内容と成果

学習の目標や振り返りの場面で頑張ることや頑張ったことを発表をする際、タブレットの音声を手掛かりに発声できるよう支援を行った。

タブレットを使っでの発表に慣れてきて、自分から発表しようと挙手をしたり教師の指名を受け入れたりすることが増えた。

日常生活の場面でもタブレットを使ってコミュニケーションしようとする場面があった。



小学部5年生



自立活動の区分と教科等:心理的な安定【日生】

取り組んだ指導内容と成果

掃除の流れや掃除機の掛け方を手順表やスケジュールとして提示し、自分で手順表を確認して次の活動に移ることができるよう支援を行った。

スケジュールや手順表を見ることで見通しがもて、1人で掃除に取り組むことができた。最初は教師と一緒に確認しながら行ったが、次第に1人で手順表を見て掃除機を掛けることができるようになった。

中学部1年生

自立活動の区分と教科等:コミュニケーション【日生】

取り組んだ指導内容と成果

場面や状況を理解し、適切な言葉で話すことができるよう、場面ごとに使う言葉を具体的に提示したり、適切な言葉で返答できるよう自分で考える時間を設けたりする支援を行った。

話し合いの場面で一方的にならず相手の意見を聞き入れたり、相手のことを考えた他者評価をすることができた。



中学部3年生

自立活動の区分と教科等:コミュニケーション【国数】

取り組んだ指導内容と成果

課題の最後に「頑張った」「難しかった」を教師と一緒にタブレットを使って振り返ることを積み重ねた。

1つずつの課題に対して教師とやりとりをしながら振り返ることができた。また、「頑張った」と「難しかった」のイラストの場所を変更しても、適切に選択することができた。



次回の研究だより



前期研究まとめ(小2.4.6.中2.訪問)&カリキュラム